（基準様式第２号）

支所発地域力向上支援金事業実施報告書（自己評価）

令和 8 年 1 月 23 日

事業実施地区	柳原地区
事業名	柳原ファイヤーズ チーム力向上事業
団体名及び代表者名	（団体名）　柳原ファイヤーズ （代表者名） （連絡先）

■事業概要（選考委員会の助言を含む）

少子化、また協議種目の多様化により少年野球の競技人口減少が進む中、会員からの会費を主な財源とするチーム運営は、年々厳しさを増している。そのような中、野球用具（チーム備品）の老朽化・劣化が進み、また大会費の値上げ等が重なり、特にチーム備品の更新が課題となっていた。そこで今回、この支援金事業を活用してチーム備品を更新し、練習メニューの充実を図るとともに、選手の事故防止の一助としたもの。	【事業完了日】 令和８年１月 10 日 【総事業費】 73,280 円 【補助金額】 72,000 円

※活動状況や備品の表示がわかる写真・成果物等を別途添付

■事業効果（目的の達成度・地域への貢献度等について）

・用具購入後、選手たちは感謝の気持ちをもって、前向きに練習や試合に励むことができた。また、夏季の猛暑の中でも安全に活動することができた。
・昨年度に比べ、対外試合を 20 試合増やし、実戦を積み重ねることで、二つの大会において準優勝という快挙を成し遂げることができ、今後の励みとなった。
・チームの体験会や学校への表敬訪問を通して部員募集を働きかけた結果、部員が 2 名増え、今後の入部者も数名予定している。

※参加人数等、数値化して効果を表せるものがあれば数値化したものも加えて記載をお願いします。

■事業評価（該当欄に〇）

	予定を上回る	予定どおり	概ね予定どおり	予定を下回る
事業の内容		〇		
事業の効果	〇			
特記事項（評価理由等）	※二大会において準優勝			

■今後の取組予定

・少年野球を通して、子どもたちにチームワークや忍耐力、礼儀やあいさつの大切さを学ぶ機会を引続き作っていく。
・子どもたちの健全育成の場を次世代へ引き継いでいくため、部員の維持、増員につながる広報活動を続けるとともに、大会での好成績を残せるよう練習に励む。

柳原地区　令和7年度　長野市支所発地域力向上支援金　購入物品

ターププテント

用具ケース

公式球

ファーストミット

キャッチャーヘルメット

柳原地区　令和7年度　長野市支所発地域力向上支援金　事業実績

第 77 回　千曲川少年野球大会 B クラス　準優勝　令和7年9月 28 日

※校長室へ表敬訪問

第26回　かむりき少年大会　準優勝　令和7年 10 月 13 日

（基準様式第３号）

支所発地域力向上支援金　事業評価（柳原支所）

令和８年１月30日

事業名	柳原ファイヤーズ チーム力向上事業

団体名	柳原ファイヤーズ

評価項目（選考基準の視点で評価）

事業区分	教育文化活動

必要性

1　2　3　④　5

必要性がなかった　あまり必要性がなかった　普通　必要性があった　大いに必要性があった

効　果

1　2　3　④　5

効果がなかった　あまり効果がなかった　普通　効果があった　特に効果があった

将来性

1　2　3　④　5

見込めない　あまり見込めない　普通　見込める　大いに見込める

支所長の総合評価（次年度以降の活動への助言等）
地域のご家庭（児童、保護者）と地域の指導者が一体でチーム作りを行い、それによりチーム力が向上し、出場した大会では優秀な成績を収めているとのことである。この貴重な経験は児童には大変な励みになり、次なる目標に向け個々の原動力に、加えてチーム力向上の原動力になるはずである。これらの経験や達成感が自己肯定感を育み、地域に欠かすことが出来ない人材に成長していくことが期待できる。
また、地域住民が指導者となり児童が安全・安心に活動できる環境を整えることは、子どもの居場所づくりという観点からも重要な取り組みである。今後ともチームがこの地域に貢献し、地域に根差した活動が末長く続くよう願っています。